

## メッセージ

地球環境保全は私たち人類にとって今や最も重要な課題のひとつであり、あらゆる国で経済発展と環境保全の両立への取り組みが進められています。

当社およびYKKグループは、地球サミットで「リオ宣言」が発表された1992年に環境憲章を制定し、1994年に「環境との調和を事業活動の最優先課題として取り組む」ことを宣言いたしました。

1990年代は、世界的規模で地球環境問題が取り上げられ、「持続可能な開発」という言葉が社会のキーワードになりました。私たちYKKグループにおきましても、環境行動目標を策定し、それまでの公害対応や省エネルギー対策の域を超え、事業活動の全域において環境の保全と改善に取り組んでまいりました。以来、毎年環境基本方針を定め、事業活動の中で着実に実践し、成果をあげてきています。

そして、2000年にはYKKグループ中期環境基本方針として「循環型社会構築への寄与」を掲げ、本年は「資源循環型商品を社会に提供」「環境負荷低減経営の更なる徹底」「グローバル化への対応」「環境情報の開示」という具体的目標に向けて、グローバルに活動を推進しています。

すこし具体的に説明しますと、単一素材を使用したり、分解や分離が簡単にできるようにし、リサイクルしやすい商品を開発すること。あるいは、ゼロ・エミッションに向けて異なった業種間で資源の再利用を促進したり、有害化学物質の使用を削減すること。更に、世界の主要拠点において2003年末までにISO14001の認証を取得できるように支援すること。そして、環境報告書を発行すること、になります。

このたび、当社の環境保全活動内容を「環境報告書」としてとりまとめ発行することにいたしました。当社では、これらの課題の継続的な改善を経営課題のひとつとして掲げ、企業価値の向上に努めていく所存であります。

本報告書で当社の環境保全に対する考え方と活動をご理解いただくと共に、皆様の忌憚のないご意見・ご指摘をいただければ幸いです。

2000年10月



YKK株式会社  
取締役社長

吉田忠裕